

「改善のためのフィードバック」

第一期 システムチェンジ応援ファンド

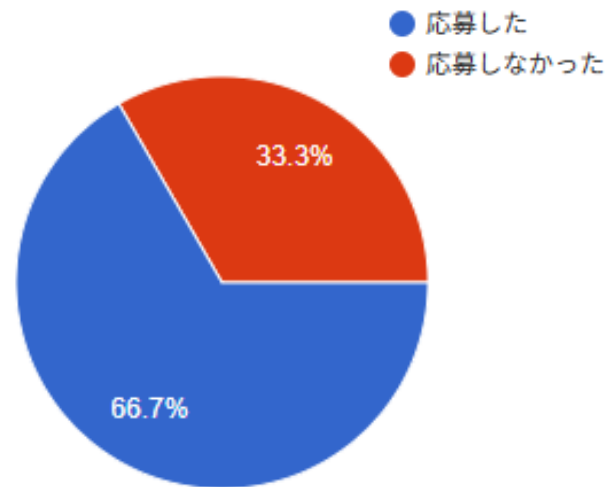
応募期間終了後アンケート結果

- ・ アンケート目的：システムチェンジ応援ファンドの運営改善のため
- ・ アンケート実施期間：2025年12月25日～2026年1月10日
- ・ アンケート対象：第一期システムチェンジ応援ファンドに関心表明をいただいた79団体
- ・ アンケート回答：24団体

2026/03/10



1) 応募の有無について



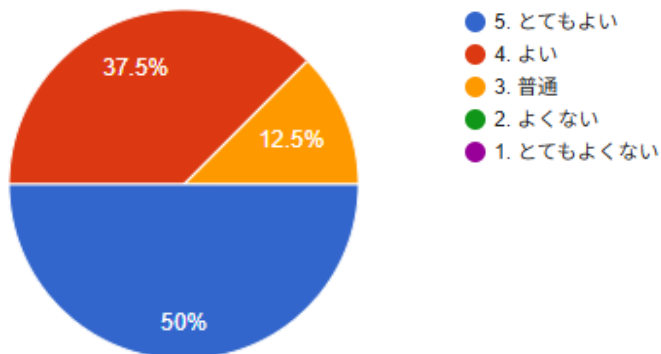
<応募した主な理由>

- ・団体の活動ととてもマッチしていると感じたから。
- ・システムチェンジを目指す新しいスキームであり社会への波及効果が高いと考えたため、また団体への過度な負担がなく、研修や伴走などエンパワメントの要素が高いこと。
- ・応募団体の立場に立ち、本質的な課題の解決のために必要な資金の在り方に共感したから。フレキシブルに使える資金を獲得できれば今まで踏み出せなかった活動に力を注ぐことができると思ったから。

<応募しなかった主な理由>

- ・成果物の作成する意義が当団体の方向性からすると見いだせなかった。
- ・募集対象と当団体の事業とも合致度が低かったため。
- ・資金源に関して、受益者である子ども、保護者への説明責任が難しいこと。
- ・他の助成金等を合わせずに実施と調査の両方を行うには予算が足りなかったため。
- ・準備の時間不足

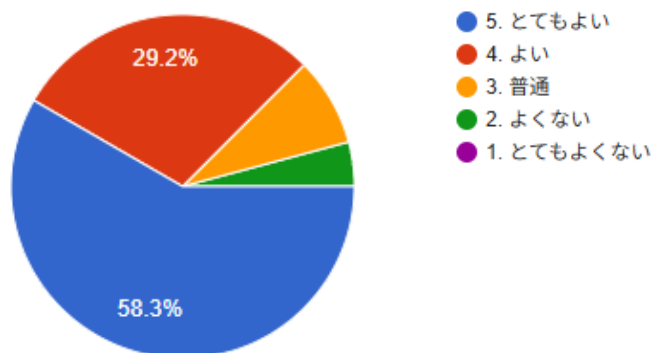
2) 説明会における「ファンドの説明・質疑応答」について



<主な意見>

- ・募集要項では伝わりきらない、主催者の思いや熱量、重視するポイントがよく伝わった。
- ・具体的な質問にも回答が得られた。
- ・具体的な事例を交えた説明により、実現性のイメージがしやすくなった。

3) 説明会における「システムチェンジ基礎研修（講師：小田理一郎氏）」について



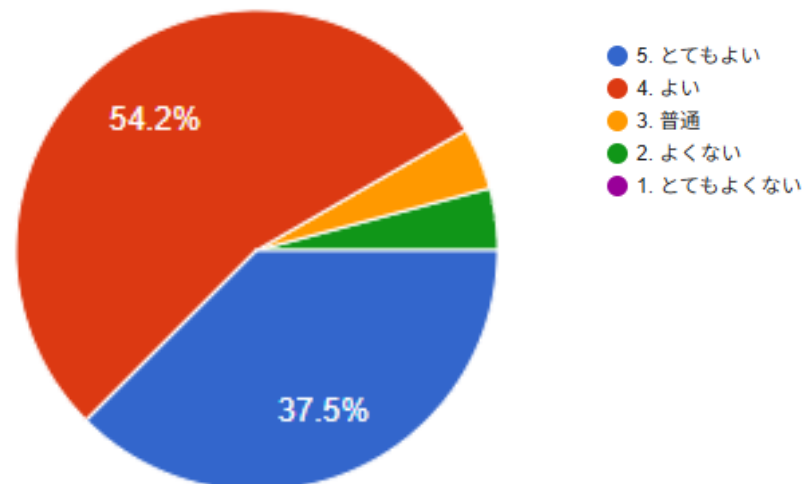
<よい>

- ・社会問題の“根本原因”と結び付けたプロジェクト考案の重要性を再認識できた
- ・システムチェンジの考え方、他の参加メンバーとの意見交換ができた

<よくない>

- ・短時間で理解するには情報が多かった。自団体への置き換えが難しいと思った。

4) システムチェンジ応援ファンドの全体設計について



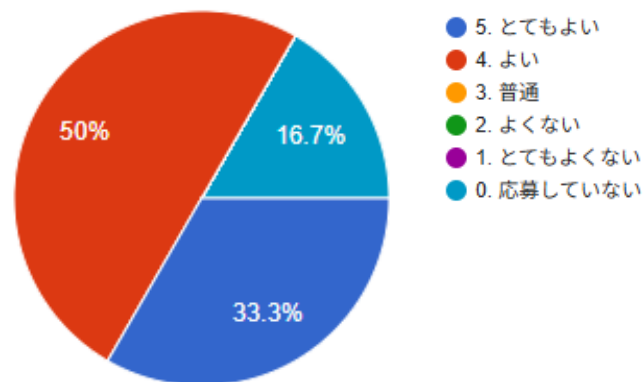
<よい>

- ・「報告書」（を通じた社会への価値提供）を成果物として挑戦的な設計になっている
- ・システムチェンジの複雑さや、やってみないとわからないということを十分理解いただく意欲的なファンド
- ・資金提供に留まらず、伴走支援や学びの機会を通じて取り組みを継続的に成長させていく設計であるところ
- ・応募前に勉強会がある
- ・資金会計報告が不要なこと
- ・トラストベースになっている
- ・途中の方針変更が可能
- ・資金の用途範囲が広い
- ・社会をどう変えるか考えるきっかけになる

<よくない>

- ・提供資金とシステムチェンジの規模にギャップがあり、事業の組み立てが難しかった
- ・対象セクターが広すぎて、目指す世界観の共有が難しいかも
- ・研究レポートと現場実践の両方を求められることにより、想定NPOが不明

5) 応募フォーマット（分量や項目等）について



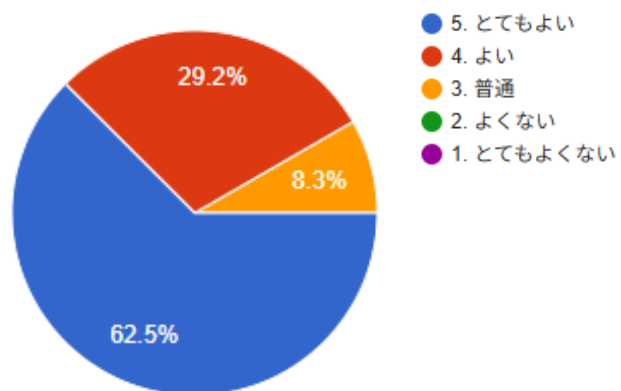
<よい>

- ・資金の用途や計画の詳細でなく、計画や目的達成のために必要な内容を記載する形
- ・自由度が高い（項目を足せる、伝えたい内容を絞り込みやすい）
- ・書類は簡便にして、面接に時間をかける
- ・実践的なフォーマット ・費用項目が細かすぎない

<よくない>

- ・費用の記載が難しい

6) 全体的な事務局の対応について



<よい>

- ・公募終了時点での本アンケートなど、常に改善を目指しているのが感じられた
- ・案内やメールが迅速かつ真摯な対応だった
- ・説明会で相談しやすい雰囲気を感じた
- ・説明会の実施 ・資料の共有